

縄紋研究における炭素 14 年代測定の研究年表（小林）

年	種別	文献	著者・論文・特記事項
2002年 7月	研究発表	『日本文化財科学会第19回大会研究発表要旨集』	今村峯雄・小林謙一・西本豊弘・坂本稔「AMS ¹⁴ C年代を利用した東日本縄文前期～後期土器・集落の研究」、中村俊夫・小田寛貴・丹生越子・池田晃子・南雅代・高橋治・太田友子「 ¹⁴ C年代測定の国際比較研究」
2003年 3月	論文	『金沢市上安原遺跡出土土器群の検討』石川考古学研究会々誌第46号	小林謙一・南久和「上安原遺跡出土土器の炭素年代と較正暦年」
2003年 3月	論文	『国立歴史民俗博物館研究報告』第108集	今村峯雄「高精度年代測定による総合的歴史研究——現状と課題——」
2003年 4月	研究発表	18th International Radio-Carbon Conference Abstract, Radiocarbon Vol. 46 Iss. 01	Minoru. Sakamoto, Mineo Imamura, Ken-ich Kobayashi, 2003, ¹⁴ C The measurement of charred material for pottery chronology
2003年 5月	研究発表	『日本考古学協会第69回総会研究発表要旨』	春成秀爾・藤尾慎一郎・今村峯雄・坂本稔「弥生時代の開始年代—— ¹⁴ C年代の測定結果について——」；弥生時代500年遡行説、小林謙一・今村峯雄・坂本稔・西本豊弘「AMS ¹⁴ C年代による縄紋土器型式の変化の時間幅」
2003年 5月	研究発表	『日本文化財科学会第20回大会研究発表要旨集』	小林謙一・今村峯雄・坂本稔・西本豊弘「AMS炭素年代による縄紋中期土器・集落の継続時間の検討」
2003年 5月	その他	『セツルメント研究』4	小林謙一・今村峯雄・坂本稔・大野尚子「南関東地方縄文集落の暦年較正年代——SFC・大橋・向郷遺跡出土試料の炭素年代測定」
2003年 5月	動向	『縄文時代』14	小林謙一「2002年の縄文時代学界動向——関連科学年代測定」
2003年 6月	論文	『古代文化』第55巻第6号	工藤雄一郎「更新世終末から完新世移行期における考古学研究の諸問題——環境変遷史と考古学的時間軸の対応関係——」
2003年 10月	研究発表	『AMS年代法と弥生時代年代論』考古学研究会東京例会	小林謙一「AMS ¹⁴ C年代測定による縄紋土器・集落の暦年較正年代」
2003年 11月	論文	『科学』Vol. 73 No. 11	木越邦彦「C14による年代測定の現状——弥生時代の年代体系をめぐって」
2003年 11月	研究発表	『第5回考古科学シンポジウム発表要旨』	山本直人「AMS ¹⁴ C炭素年代測定法の縄文研究への活用」
2003年 12月	その他	『考古学研究』第50巻第3号	西田茂「年代測定値への疑問」
2003年 12月	その他	『國學院大學21COE国際シンポジウム——東アジアにおける新石器文化の成立と展開』	谷口康浩「日本列島における土器出現の年代」、クズミン YA. V. 2003「ロシア極東における土器の出現：考古地質学的研究」
2004年 1月	単行本	『揺らぐ考古学の常識——前・中期旧石器捏造問題と弥生開始年代——』	設楽博己「AMS炭素年代測定による弥生時代の開始年代をめぐって」、小林謙一「AMS年代測定の考古学への応用」
2004年 3月	論文	『国立歴史民俗博物館研究報告』第120集	小林謙一・今村峯雄・坂本稔「焼町土器の炭素14年代と暦年較正」

年	種別	文献	著者・論文・特記事項
2004年 3月	論文	『名古屋大学加速器質量分析計業績報告書(XV)』	中村俊夫・福本浩士・光谷拓実・丹生越子・小田寛貴・池田晃子・太田友子・藤根久「年輪年代と ¹⁴ C年代の比較」, 中村俊夫「 ¹⁴ C暦年代較正と海洋リザーバー効果」
2004年 3月	その他	『研究紀要』第9号, 青森県埋蔵文化財センター	小林謙一・今村峯雄・坂本稔・佐藤智生「畑内遺跡出土縄紋晩期土器付着物の炭素年代測定」
2004年 3月	その他	文部科学省科学研究費平成13-15年度基盤研究(A・1)(一般)	今村峯雄編「縄文時代・弥生時代の高精度年代体系の構築」
2004年 3月	論文	『時空を越えた対話—三田の考古学—』六一書房	小林謙一「AMS ¹⁴ C年代測定と暦年代較正を利用した縄紋中期の土器型式変化の時間」
2004年 3月	その他	『考古学研究』第50巻第4号	藤尾慎一郎・今村峯雄「炭素14年代とりザーバー効果—西田茂氏の批判に依えて」
2004年 3月	その他	『北上市埋蔵文化財年報(2002年度)』	小林謙一・坂本稔・尾畠大真・新免歳靖・松崎浩之「北上市内遺跡出土土器付着物の ¹⁴ C年代測定」
2004年 3月	論文	『アルカ 研究論集』第2号	鈴木正博「Radiocarbon Dating 批判—日本先史土器に係わる「炭素14測定による推定年代」とその取り扱いについて—」, 早傘「土器付着炭化物較正炭素年代少考」
2004年 4月	その他	『考古論叢神奈河』12	小林謙一・今村峯雄・天野賢一「川尻中村遺跡・原東遺跡出土試料の炭素年代測定について」
2004年 5月	単行本	『火炎土器の研究』同成社	吉田邦夫「火炎土器に付着した炭化物の放射性炭素年代」
2004年 5月	動向	『縄紋時代』15	小林謙一「2003年の縄文時代学界動向 関連科学 年代測定」
2004年 5月	単行本	『現代考古学事典』同成社	谷口康浩「年代学」
2004年 5月	単行本	今村峯雄・春成秀爾編「弥生時代の実年代 炭素14年代をめぐって」学生社	今村峯雄「世界の炭素14年代測定」, 春成秀爾「炭素14年代と日本考古学」, 坂本稔「AMSによる炭素14年代法」, 設楽博己「東日本と西日本の併行関係」, 小林謙一「東日本」
2004年 5月	研究発表	『日本考古学協会第70回総会研究発表要旨』	小林謙一・今村峯雄・坂本稔・西本豊弘・松崎浩之「AMS ¹⁴ C年代測定による関東地方縄紋時代後期の暦年代較正年代」
2004年 5月	研究発表	『日本文化財科学会第21回大会研究発表要旨』	坂本稔・小林謙一・舛田奈緒子・今村峯雄「炭素14年代法に用いる土器付着炭化物の同定の試み」
2004年 6月	その他	『考古学研究』51巻1号	西田茂「ふたたび年代測定値への疑問」
2004年 8月	論文	『季刊 考古学 第88号 特集弥生時代の始まり』	小林謙一「問題点と課題 試料の選択と前処理」

縄紋研究における炭素 14 年代測定の研究年表（小林）

年	種別	文献	著者・論文・特記事項
2004年 8月	論文	『考古学ジャーナル』No. 519	谷口康浩「日本列島初期土器群のキャリブレーション ¹⁴ C年代と土器出土量の年代的推移、小畑弘己「シベリア・極東地域の初期土器研究について」
2004年 10月	単行本	小林謙一『縄紋社会研究の新視点』	小林謙一『縄紋社会研究の新視点——炭素 14 年代測定の利用——』六一書房
2004年 11月	その他	『多摩のあゆみ 特集縄文中期の集落と居住形態』116	小林謙一「AMS 炭素 14 年代測定法からみた新地平編年」
2004年 11月	その他	『信州縄文文化研究会 JOMON・news』28	黒岩隆「考古学の年代——縄文時代の相対年代、数値年代——」
2005年 3月	その他	『助岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター研究紀要』XXIV	小林謙一・金子昭彦「岩手県長谷堂遺跡出土土器付着物の ¹⁴ C年代測定」
2005年 3月	その他	『山形県埋蔵文化財センター研究紀要』第3号	小林謙一・小林圭一・坂本稔・松崎浩之「山形県内遺跡出土試料の ¹⁴ C年代測定」
2005年 3月	その他	『秋田県埋蔵文化財センター研究紀要』第19号	小林謙一・坂本稔・尾畷大真・新免歳靖・松崎浩之・小林克「秋田県内遺跡出土試料の ¹⁴ C年代測定」
2005年 3月	その他	『北上市埋蔵文化財年報（2003年度）』	小林謙一・坂本稔・尾畷大真・新免歳靖・松崎浩之「北上市内遺跡出土土器付着物の ¹⁴ C年代測定（2）」
2005年 3月	論文	『特別史跡三内丸山遺跡年報-8-平成16年度』	小林謙一「付着炭化物の AMS 炭素 14 年代測定による円筒土器の年代研究」、西田泰民・宮尾亨・吉田邦夫・中村大「縄文土器・土製品の分析化学に基づく情報の解明」
2005年 3月	その他	『名古屋大学加速器質量分析計業績報告書（XVI）』	谷口康浩「極東における土器出現の年代と初期の用途」
2005年 3月	その他	『大和市史研究』31	小林謙一・今村峯雄・春成秀爾「大和市上野遺跡出土縄紋草創期土器付着物の ¹⁴ C年代」
2005年 3月	その他	『京都府埋蔵文化財情報』第97号	中川和哉「案察使遺跡出土の縄文土器に関する科学分析」
2005年 5月	論文	『縄文時代』第16号	小林謙一・坂本稔・松崎浩之「稲荷山貝塚出土試料の ¹⁴ C年代測定——層位的出土状況の分析と海洋リザーバー効果の検討のために——」
2005年 5月	動向	『縄紋時代』16	小林謙一「2004年の縄文時代学界動向 関連科学 年代測定」
2005年 5月	研究発表	『日本考古学協会第71回総会研究発表要旨』	小林謙一・坂本稔・尾畷大真・新免歳靖・松崎浩之「AMS ¹⁴ C年代と測定試料の遺構出土状況の検討」
2005年 5月	動向	『史学雑誌』114編5号	千葉豊「2004年の歴史学界——回顧と展望——二 縄文」

年	種別	文献	著者・論文・特記事項
2005年 7月	研究発表	『日本文化財学会第22回大会研究発表要旨集』	尾崎大真・坂本稔・今村峯雄・中村俊夫・光谷拓実 2005「日本産樹木による縄文・弥生境界期の炭素14年代較正曲線の作成」, 坂本稔・小林謙一・今村峯雄・松崎浩之・西田茂 2005「土器付着物に見られる海洋リザーバー効果」
2005年 6月	論文	『先史・古代』鳥致院, 韓国古代学会	庄田慎矢「日本先史考古学 時代区分 年代問題—紀元前1千年紀を中心として—」
2005年 9月	論文	Radiocarbon 46 (3)	Reimer, Paula J. et al 2004 IntCal04 Terrestrial Radiocarbon Age Calibration, 0-26 Cal Kyr BP; INTCAL04 に更新
2005年 10月	発表	『日本考古学協会 2005 年度 福島大会シンポジウム資料集』	藤根久・佐々木由香・大会実行委員会「複式炉の年代」
2005年 11月	研究発表	『土器研究の新視点』大手前大学史学研究所	坂本稔・小林謙一「同位体分析による土器付着物の内容検討に向けて」
2005年 12月	単行本	『縄文研究の新地平～勝坂から曾利へ～』考古学リーダー 6	中村哲也「笹ノ沢(3) 遺跡の集落景観」
2005年 12月	書評	『考古学研究』52 巻 3 号	山本直人「書評 小林謙一著『縄紋社会研究の新視点—炭素14年代測定の利用—』」
2006年 3月	単行本	『弥生時代の新年代』弥生時代のはじまり第1巻 雄山閣	小林謙一「東日本における年代測定の成果」
2006年 3月	その他	『秋田県埋蔵文化財センター研究紀要』第20号	小林謙一・小林克「秋田県内出土試料の ¹⁴ C年代測定結果について」
2006年 3月	その他	『山形県埋蔵文化財センター研究紀要』第4号	小林謙一・小林圭一「山形県内遺跡出土試料の ¹⁴ C年代測定と較正年代の検討」
2006年 3月	その他	『北上市埋蔵文化財年報(2004年度)』	小林謙一・坂本稔・遠部慎・宮田佳樹・松崎浩之「研究報告 岩手県北上市飯島遺跡出土試料の ¹⁴ C年代測定」
2006年 3月	論文	『法政考古学』第32集	鈴木正博「荒海海進」と較正曲線—縄文式終末における環境(気候)変動と年代推定—」
2006年 5月	論文	『セツルメント研究』5号	小林謙一「関東地方縄紋集落の暦年較正年代(2)—SFC・大橋遺跡の年代測定補遺—」
2006年 5月	論文	『土曜考古』第30号	早傘「校正! 炭素年代批判—精度管理と信頼水準—」
2006年 5月	論文	『島根考古学会誌』第23集	小林謙一・角田徳幸「三瓶火山の噴出物と縄文時代のAMS炭素14年代測定」
2006年 5月	研究発表	『日本第四紀学会講演要旨集』	工藤雄一郎「完新世における縄文時代の放射性炭素年代と植物質食料資源利用」
2006年 5月	研究発表	『日本考古学協会第72回総会発表要旨』	小林謙一・春成秀爾・今村峯雄・西本豊弘「縄文時代草創期の炭素14年代測定」, 工藤雄一郎・小林謙一・坂本稔・松崎浩之・千葉敏朗「東京都東村山市下宅部遺跡における ¹⁴ C年代測定」

縄紋研究における炭素 14 年代測定の研究年表（小林）

年	種別	文献	著者・論文・特記事項
2006年 5月	動向	『縄紋時代』17	小林謙一「2005年の縄文時代学界動向 関連科学 年代測定」
2006年 6月	研究発表	『日本文化財科学会 第23回大会研究発表要旨集』	小林謙一・今村峯雄・春成秀爾・西本豊弘・坂本稔「縄文時代前半期における ¹⁴ C年代測定」、遠部慎・小林謙一・宮田佳樹・尾寄大真・新免歳靖・坂本稔・八木勝枝・松崎浩之「岩手県北上市大橋遺跡の炭素14年代測定」
2006年 9月	研究発表	『東アジア世界における日本基層文化の考古学的解明』國學院大學21世紀COEプログラム	国木田大・吉田邦夫・中野拓大「北海道東部における土器付着物の炭素14年代測定」
2006年 11月	研究発表	『The 60th Annual Meeting of The Anthropological Society of Nippon Abstracts』日本人類学会	小林謙一「AMS ¹⁴ C年代測定による縄紋時代草創期・早期の年代研究」、遠部慎「北・東部九州における縄文時代草創期末～早期前半の諸様相——大分県九重町二日市洞穴の年代測定——」
2006年 11月	研究発表	『日本植生史学会第21回大会講演要旨集』	工藤雄一郎・佐々木由香・小林謙一・坂本稔・松崎浩之「東京都下宅部遺跡における遺構群の ¹⁴ C年代と縄文時代後半期の種実利用の変遷」、遠部慎・宮田佳樹・小林謙一・植田弥生「貝層堆積過程の復元——貝塚出土試料におけるコンタミネーション——」
2006年 11月	論文	『三内丸山遺跡の生態系史』植生史研究特別第2号	辻誠一郎「三内丸山遺跡の層序と編年」
2006年 11月	論文	『九州縄文時代早期研究ノート』第4号	小林謙一「AMS ¹⁴ C年代測定による縄紋時代草創期・早期の年代研究」、遠部慎「北・東部九州における縄文時代草創期末～早期前半の諸様相——大分県九重町二日市洞穴の年代測定——」
2006年 11月	論文	『考古学と自然科学』第54号	小林謙一「関東地方縄文時代後期の実年代」
2006年 12月	論文	『研究報告』133集 国立歴史民俗博物館	小林謙一「縄紋時代研究における炭素14年代測定」
2007年 1月	論文	Nuclear Instruments and Methods in Physics B vol. 259	Nakamura, T., Nishida, I., Takada, H., Okuno, M., Minami, M. and Oda, H Marine reservoir effect deduced from ¹⁴ C dates on Marine shells and terrestrial remains at archeological sites in Japan
2007年 2月	研究発表	『第17回九州縄文研究会福岡大会 九州における縄文時代早期前葉の土器相』	遠部慎・宮田佳樹・小林謙一「北部九州における撚糸文土器群と炭素14年代測定」

年	種別	文献	著者・論文・特記事項
2007年 3月	論文	『国立歴史民俗博物館研究報告』137	小林謙一「縄文時代前半期の実年代」、藤尾慎一郎「土器型式を用いたウイグルマッチングの試み」、今村峯雄「炭素14年代較正ソフトRHC3.2について」、村本周三・小林謙一・坂本稔・松崎浩之「AMS- ¹⁴ C年代測定を用いた遺跡形成過程推定の取り組み」、小林謙一・坂本稔・新免歳靖・尾寄大真・村本周三・小栗信一郎・小川勝和「流山市三輪野山貝塚における ¹⁴ C年代測定研究」、遠部慎・宮田佳樹・小林謙一・松崎浩之・田嶋正憲「炭素14年代測定に関するサンプリングの実践と課題—岡山県彦崎貝塚出土炭化材の炭素14年代測定—」、宮田佳樹、小島孝修、松谷暁子、遠部慎、西本豊弘「西日本最古のキベ—竜ヶ崎A遺跡の土器付着炭化物」
2007年 3月	論文	『土浦市立博物館紀要』第17号	小林謙一・坂本稔・松崎浩之・関口満「茨城県土浦市内遺跡出土土料の ¹⁴ C年代測定」
2007年 3月	論文	『研究紀要』23 山梨県立考古博物館・山梨県埋蔵文化財センター	小林謙一・遠部慎・宮田佳樹・松崎浩之・正木季洋「塚越遺跡の ¹⁴ C年代測定」
2007年 3月	論文	『特別史跡三内丸山遺跡年報』10	村本周三「三内丸山遺跡台地北西端（第27次調査区付近）の遺物包含層形成過程の解明—堆積状況の観察と出土遺物のAMS- ¹⁴ C年代測定—」
2007年 3月	論文	財団法人滋賀県文化財保護協会『紀要』20	宮田佳樹・遠部慎・小島孝修「竜ヶ崎A遺跡出土土器付着炭化物の炭素14年代測定結果（補遺）」
2007年 3月	論文	『考古学研究』第53巻第4号	工藤雄一郎・小林謙一・坂本稔・松崎浩之「東京都下宅部遺跡における ¹⁴ C年代研究—縄文時代後期から晩期の土器付着炭化物と漆を例として—」
2007年 3月	論文	『大分地方史』第200号	遠部慎「大分県における縄文時代研究の動向（年代測定研究）」
2007年 3月	単行本	『土器研究の新視点』大手前大学史学研究所編、六一書房	坂本稔「同位体分析による土器付着物の内容検討に向けて—自然科学の立場から—」、小林謙一「同位体分析による土器付着物の内容検討に向けて—考古学の立場から—」
2007年 4月	論文	Radiocarbon 49-2	hiromasa ozaki, mineo imamura, hiroyuki matuzaki, takumi mitsutani Radiocarbon in 9th to 5th century BC tree-ring samples from the ouban 1 archaeological site, Hiroshima, Japan
2007年 4月	論文	『考古学ジャーナル』No. 556	中村俊夫「 ¹⁴ Cウイグルマッチングによる暦年代の高精度推定」

縄紋研究における炭素 14 年代測定の研究年表（小林）

年	種別	文献	著者・論文・特記事項
2007年 5月	研究発表	『日本考古学協会第73回総会 研究発表要旨』	村本周三・小林謙一・遠部慎・井上ノ原遺跡研究グループ「福島県井上ノ原遺跡の調査—AMS- ¹⁴ C年代測定を用いた遺構埋没過程の研究—」、小林謙一「堅穴住居跡の堆積年数と集落復原—AMS ¹⁴ C年代の応用—」
2007年 5月	論文	『セツルメント研究』6号	小林謙一「大木9・10式土器の年代測定事例集成—批判に対する上での覚書—」
2007年 5月	動向	『縄紋時代』18	小林謙一「2006年の縄文時代学界動向 関連科学 年代測定」
2007年 6月	研究発表	『日本文化財科学会第24回大会 研究発表要旨集』	遠部慎・宮田佳樹・小林謙一「九州地方における縄文時代前半期の炭素14年代測定」、小林謙一・遠部慎・坂本稔・宮田佳樹・松崎浩之・村本周三・加藤宣春「 ¹⁴ C年代測定を用いた縄紋住居埋没過程の復元」、住田雅和・西本豊弘・宮田佳樹・三浦圭介「縄文ヒエの年代と形態について」、西本寛、高田秀樹・中村俊夫「真脇遺跡出土環状木柱列の高精度 ¹⁴ C年代測定による伐採年代の推定」、国木田大・吉田邦夫・宮崎ゆみ子「東北・北海道における土器付着物の ¹⁴ C年代」
2007年 6月	論文	『植生史研究』第15巻第1号	工藤雄一郎・佐々木由香・坂本稔・小林謙一・松崎浩之「東京都下宅部遺跡から出土した縄文時代後半期の植物利用に関連する遺構・遺物の年代学的研究」、工藤雄一郎「下宅部遺跡から出土したウルシの杭とその年代」
2007年 7月	論文	『第四紀研究』第46巻第3号	Yuichiro Kudo The Temporal Correspondences between the Archaeological Chronology and Environmental Changes from 11,500 to 2800 cal BP on the Kanto Plain, Eastern Japan
2007年 9月	論文	『考古学研究』第54巻2号	小林謙一「AMS ¹⁴ C年代測定試料の検討と縄紋住居居住期間の推定」
2007年 9月	論文	『日本第四紀学会要旨集』	宮田佳樹、遠部慎、坂本稔、今村峯雄瀬戸内海縄文時代早期貝塚の炭素14年代測定—岡山県瀬戸内市黄島貝塚を中心に—
2007年 10月	研究発表	『The 2nd East-Asia AMS Conference Abstracts』	S. ONBE, Y. Miyata, K. Kobayashi 「AMS ¹⁴ C Dating for the First Half of Jomon period in western Japan: Carbonized material adhering to pottery」
2007年 12月	論文	『古代学研究』第179号	遠部慎・宮田佳樹・熊谷博史「近畿地方における押型文土器の炭素14年代測定」
2008年 3月	論文	『環境文化史研究』第1号	国木田大・吉田邦夫・辻誠一郎2008「東北地方におけるトチノキ利用の変遷」